

『タイムトリップ平安時代』 —なんて素敵にジャポネスク?!—



『源治物語解剖図鑑』

佐藤晃子 エクスナレッジ

紫式部は源氏物語で何を伝えたかったのか？源氏物語54帖を物語と絵巻から徹底解剖していきます。貴族の暮らしや、風習、文化、信仰についても解説しています。源氏物語+平安時代へタイムトリップ！GO!! ちょっと早いけど、来年の大河ドラマの予習を済ませちゃおうぜ！

およそ400年続いた平安時代は、歴史的には、まだまだ謎の部分の多いですが、遣唐使が廃止されたり、「仮名文字」の使用により国文学が繁栄したりと、現代に続く、日本独特の文化の基礎が形成されていった時代です。

また、摂関家の娘と天皇家との婚姻で権力を確立していった藤原氏や、清少納言や紫式部の活躍など平安時代はある意味、女性の時代と言える側面もありました。この秋は、千年の都、京都の始まり、平安時代にタイムトリップしてみませんか！

超訳 古今和歌集

#千年たっても悩んでる!



『超訳 古今和歌集』

noritamami ハーパー・コリンズ・ジャパン

古今和歌集は、平安時代の初めに醍醐天皇の命により作られた歌集です。1000年以上も前なのに、和歌に読まれている内容から読み解くと、悩んでいることや考えていることは、令和の今も大差なし! ? なんだか親近感をもっちゃいますね。超訳だから読みやすいですよ。

『日本文学全集3 竹取物語など』

池澤夏樹 個人編集 河出書房新社

仮名による日本最古の物語「竹取物語」を森美登美彦が、和歌を中心に人生を綴った「伊勢物語」を川上弘美が、最古の短編集「堤中納言物語」を中島京子が、「男もすなる日記というものを」の書き出しで有名な「土佐日記」を堀江敏幸が、13歳から40余年に及ぶ女の一生を綴った「更級日記」を江國香織が、新訳で今に甦らせています。このシリーズは、他にも「源氏物語」や「百人一首」「枕草子」などもあります。現代人気作家による新訳で、平安文学にLet`s try!

